

3Dプリント入門

3Dプリンターのしくみから
実際にモノを作るまでの手順

特定非営利活動法人
ゴーフォワードジャパン

3Dプリンター入門

- 3Dプリンターとは
 - 3Dデータをもとに立体物を造形する機器
 - 狹義では、コンピュータ上で作った3Dデータを積層造形法（**Additive manufacturing**: 素材を積層して造形）などを用いて立体物を作る装置
- 基本的な造形方式
 - 熱溶解積層方式（FDM/FFF）
 - 光造形方式（SLA）
 - 粉末焼結積層方式（SLS）
 - 粉末固着積層方式
 - 切削造形方式（SRP）
- ハイブリッド型造形方式
 - インクジェット方式
 - 積層造形+切削造形方式
 - シート積層方式

詳細はリコーのサイト「<http://www.ricoh.co.jp/3dp/what/>」が参考になります。

FDM: 熱溶解積層方式とは

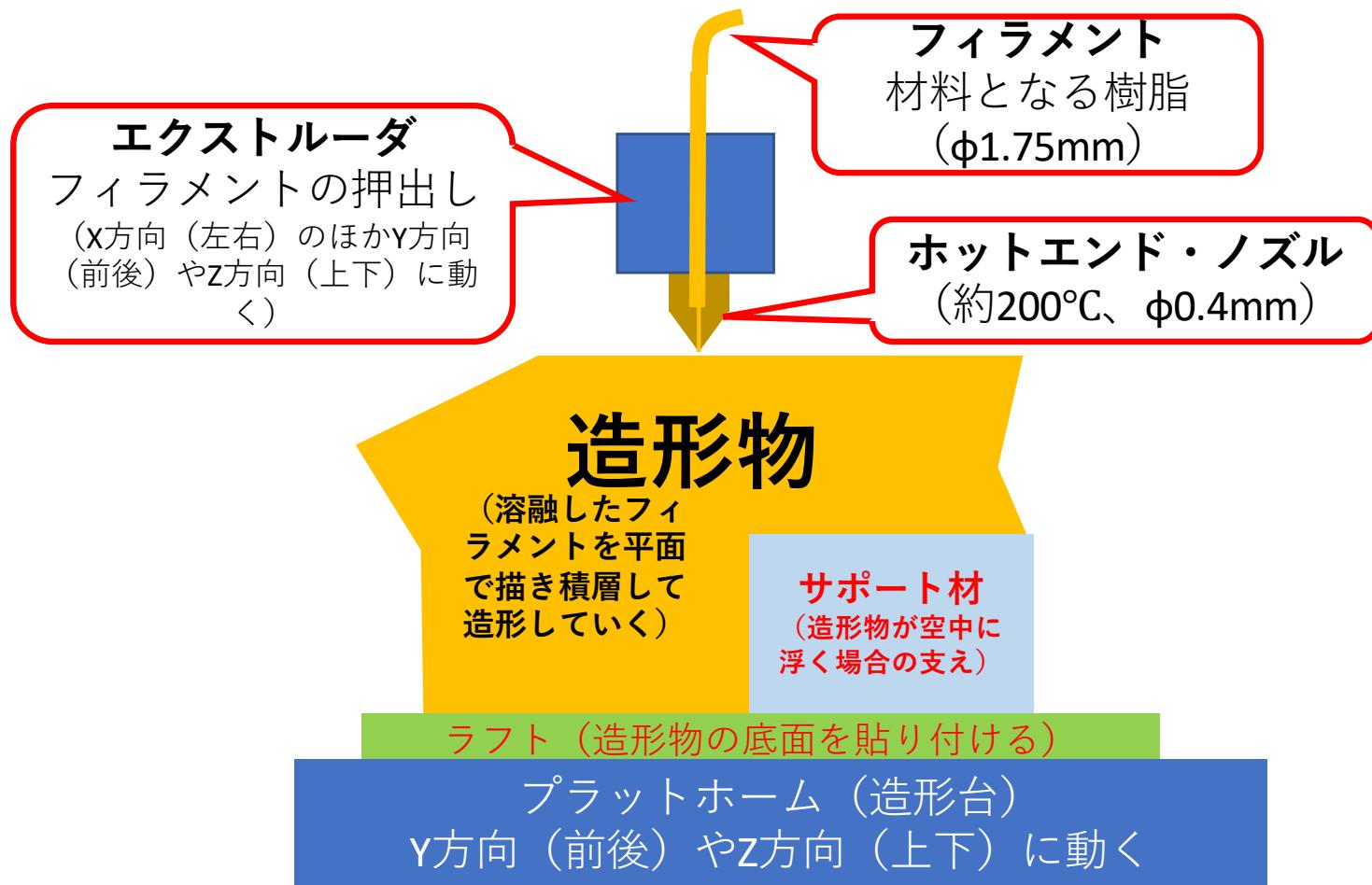
- Fused Deposition Modeling/ Fused Filament Fabrication
- 熱可塑性樹脂を高温で溶かし、積層させて造形する方式です。使用する樹脂は ABSやPLAが主として利用されます。
- 1980年代後半に米国ストラタシス (Stratasys) 社が開発し、多くの特許を保有（180以上）しています。

FDMの主な素材（フィラメント）

ABS (Acrylonitrile, Butadiene, Styrene) と PLA (Polylactic Acid) が一般的

	ABS	PLA
原料	石油製品	トウモロコシ加工品
溶融温度	220 度から 240 度	180 度から 210 度
積層からの剥離、収縮による反り	出やすい	出にくい
加熱プラットホーム	必須	不要
印刷中造形物の冷却	不要	必須
プラットホームの付着	表面加工に依存・要糊	表面によらず付着
柔軟性	あり	割れやすい
印刷中の異臭	ややあり	無し

3Dプリンターの動作原理と用語

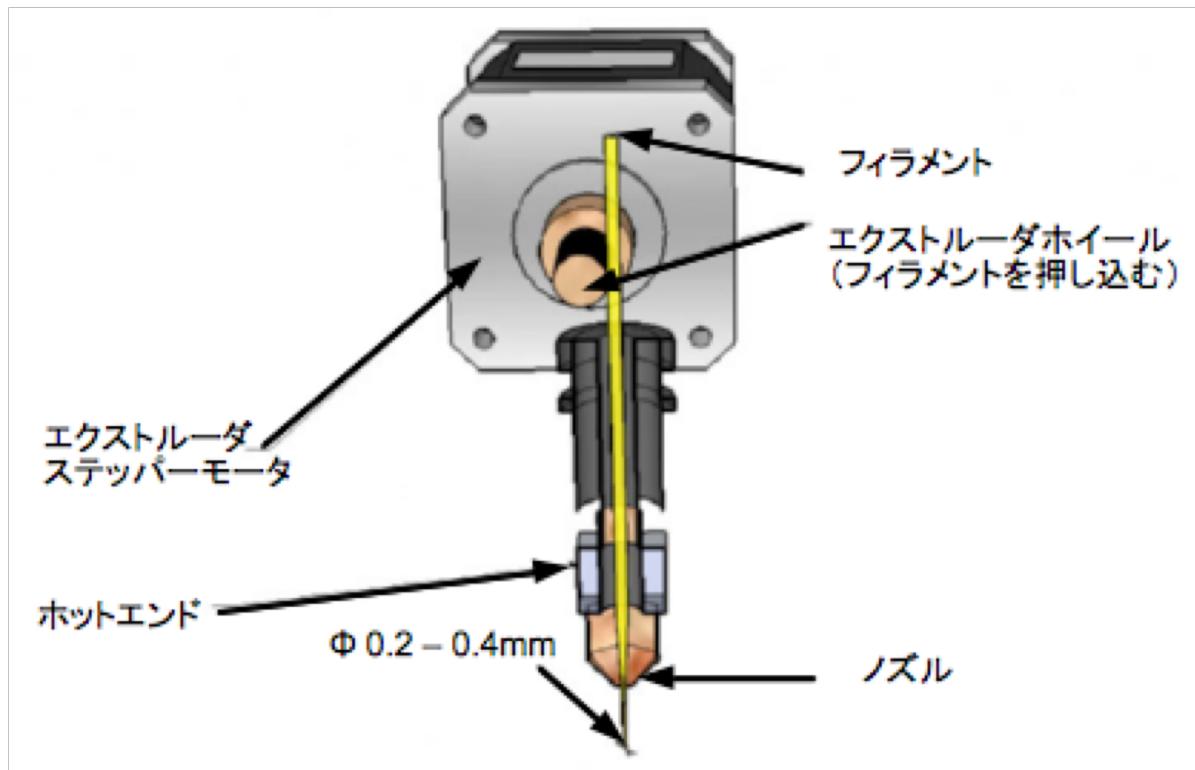


サポート材の例

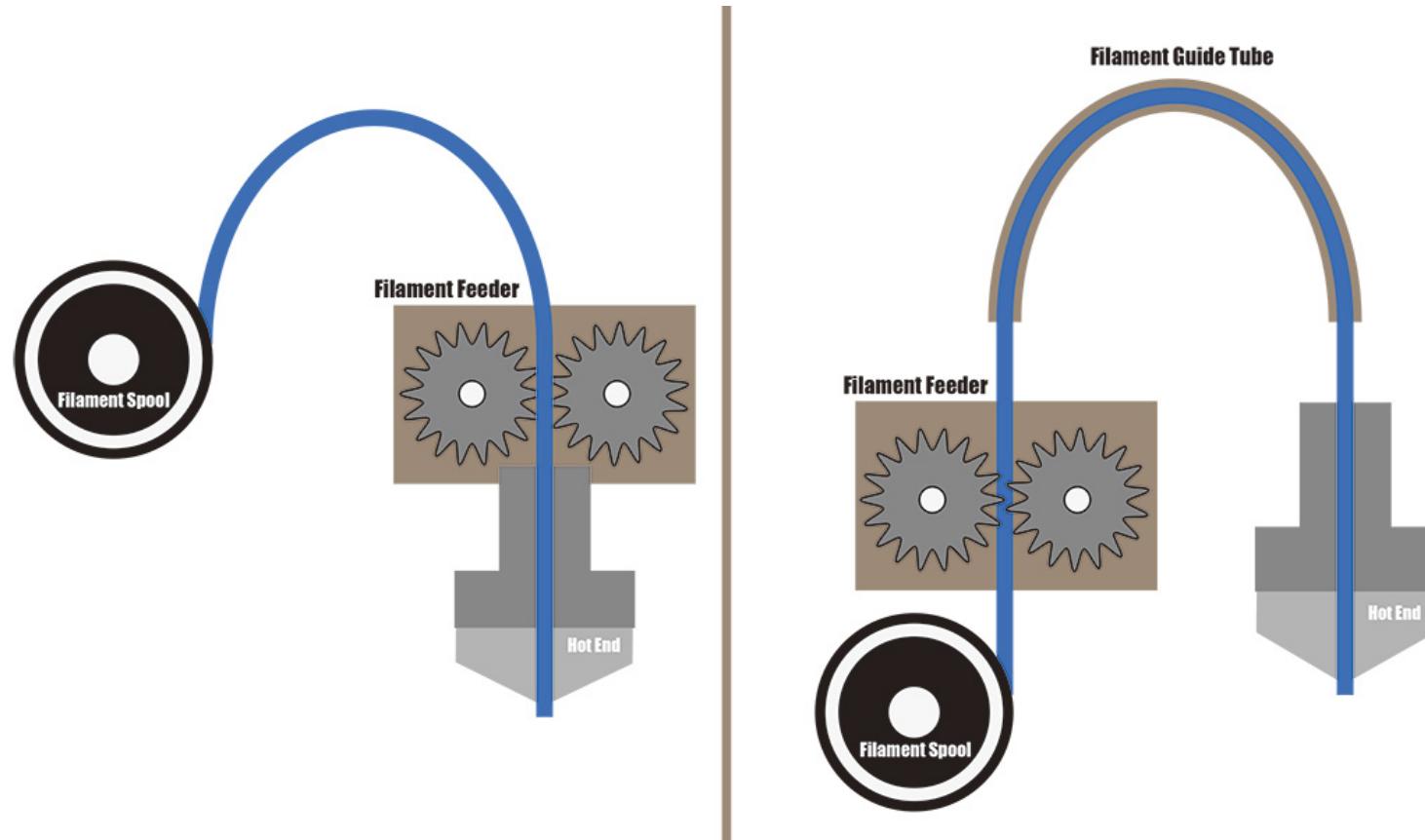


同一のフィラメントでもサポートが可能だが、エクストルーダが複数ある場合は、別のフィラメントでサポートが可能。
その場合、水溶性フィラメントを使うと除去が楽になる。

エクストルーダの詳細

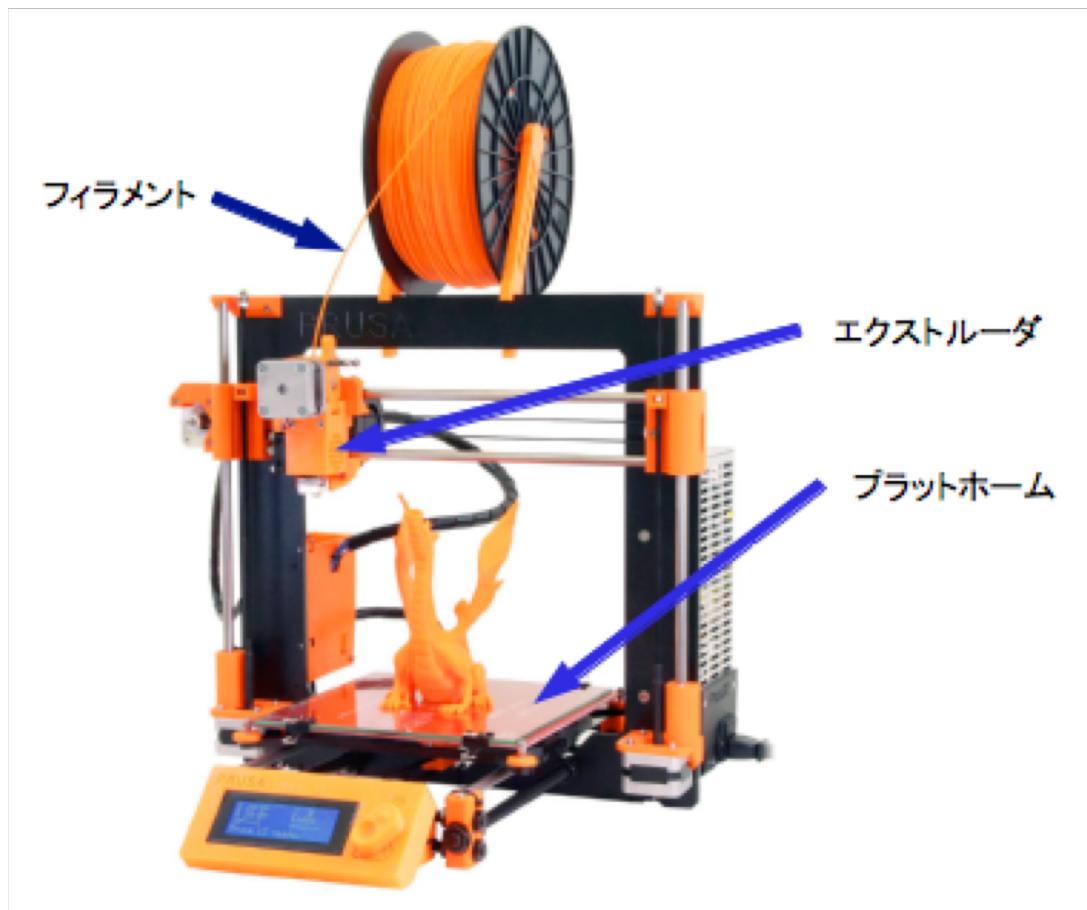


エクストルーダの詳細



上の図のようにノズルの上部にフィーダーユニットが直接付いているものと
フィラメントガイドチューブを介して離れた所に付いているものの2種類がある。

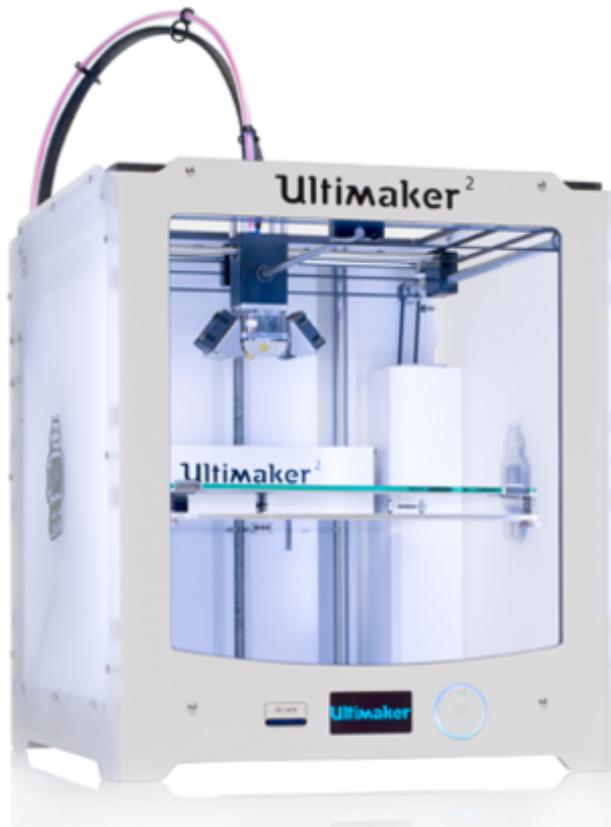
3Dプリンターの基本的な構造



prusa製 i3 の例

このタイプは、エクストルーダが X 方向（左右）と、Z 方向（上下）に動き、プラットホームが Y 方向（前後）に動くタイプ。

ファブースペースの3Dプリンタ



- Ultimaker 2+
 - 0.02～0.6mm ピッチ
 - 静音
 - ABS/PLA 両対応
 - 単エクストルーダ
• 冷却ファン付き
 - フィラメント径
• 2.85mm

この3Dプリンターは、エクストルーダがX方向（左右）、Y方向（前後）に動き
プラットホームがZ方向（上下）に動くようになっている。

ファブースペースの3Dプリンタ（2）



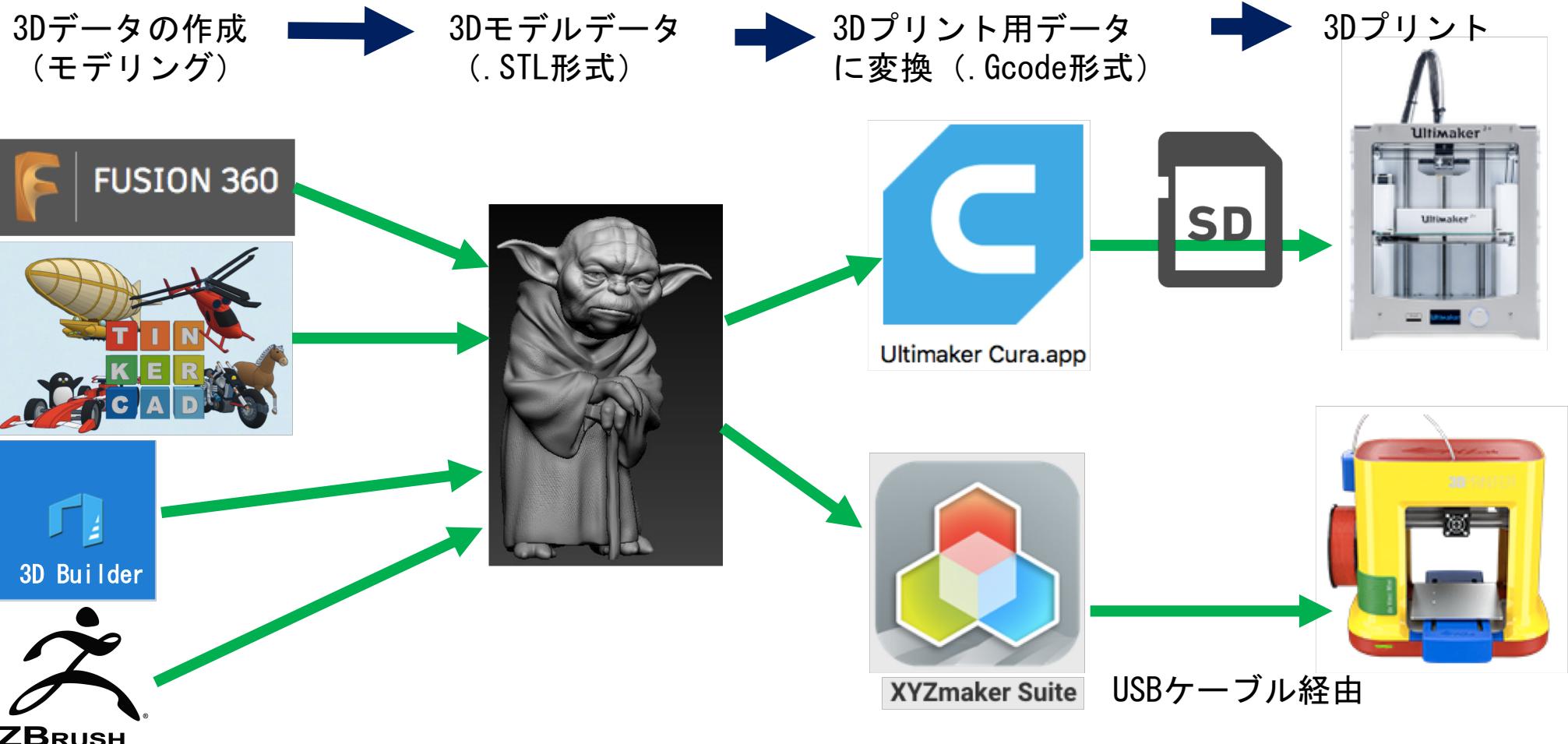
- XYZprinting 製
ダヴィンチ mini Maker
 - 0.1～0.4mmピッチ
 - PLA のみ対応
 - 単エクストルーダ
 - 冷却ファン無し
 - フィラメント径
 - 1.75 mm (一般的)

この3Dプリンターは、エクストルーダがX方向（左右）、Z方向（上下）に動き
プラットホームがY方向（前後）に動くようになっている。

3Dプリントの手順

1. 3D設計データの作成
 - Fusion 360等の3Dデザインアプリを使用
2. STL形式データに変換
 - Fusion 360 で変換・出力が可能
3. 造形用データに変換
 - Ultimaker curaでSTL モデルを解像度によってスライスし、ヘッドの温度などを設定した加工データ(G-code) に変換
4. 変換後のデータをSD メモリーカードを経由してプリンターに読み込ませて出力

3Dプリントの手順



3Dプリンター用データ形式

- 3Dモデルのデータ形式
 - STL形式（一般的に利用されている）
 - StereoLithography 形式
 - 3D System 社が開発した3Dオブジェクト形式
 - 現在ではデファクトスタンダードとなっている
 - 他の形式
 - stl, step, iges, 3ds, obj, 3mf, ply, wrl など
- 3Dプリント用データ形式（G-code）
 - 上記3Dモデルのデータ形式を積層する層ごとの平面にスライスしたものがGcode形式のデータ

3Dデザイナーアプリ

Fusion 360について

- オートデスク社が開発している3次元CADアプリ
- 個人が趣味で利用するのは現状無料
- Mac・Windows両サポート
- 利用にはインターネット接続が必要
- データはクラウドとローカルに保存
- 多機能（レンダリング、アセンブリ、解析など）

Tinkercadについて

- オートデスク社が開発している3次元CADアプリ
- 個人が趣味で利用するのは現状無料
- Webブラウザー上で動作（ネット接続必須）
- 日本語を含む15言語に対応
- データはクラウドに保存（STLでDownload可）
- 使い方が簡単で、数値で正確にモデリング可能

3D Builder について

- Windows 10 に標準で付属
- スタートメニューの Windows アクセサリーに
- 円柱・球・四角柱・三角柱などのオブジェクトを組み合わせて造形
- 3Dモデリング入門として簡単に利用できる

ZBrushについて

- 映像、ゲーム制作で必須の3D造形ツール
 - ペンタブレットと、基本的な機能のみの ZBrush core を組み合わせた廉価版もあり
- 直観的な操作で使えるペイントツール
- 表現の難しい皺やクロスなどの纖細な質感も簡単に作成能